

韓国での食事

情報文化学科 2年 南真央



私は韓国でたくさんの韓国料理を食べました。留学に行く前、日本の韓国料理屋に何度か行ったことがあります。韓国料理と言われ思い浮かぶのは「辛い」ですが、日本で食べた韓国料理は日本人に合わせてあるので辛くありませんでした。しかし、本場で食べた韓国料理は私が想像していた以上に辛いものばかりでした。

食堂に行くと、基本辛いものしかなく、料理のほとんどが赤いです。最初は辛いものに慣れていなく大変でしたが、帰る頃には初めに辛いと思った料理が辛くないと感じるようになっていました。また、韓国の食堂ではキムチや漬物、卵焼きなどのおかずが無料で出てきます。このような習慣は日本にはないので、とても新鮮に感じました。私たちが住んでいたフェギはパジョン通りが有名だったので、よくパジョンを食べに行きました。



大きくて安いので学生に優しいなと思いました。また、焼き肉やチキンのお店が多く、サムギョブサルやカモネギサルを食べたり、芸人がオーナーの有名なチキンの店に行ったりなど、美味しいものばかりでとても幸せでした。

韓国のデザートといえば、「パッピンス」です。韓国にいる間、たくさんのパッピンスを食べました。日本でいえばかき氷のことですが、韓国のパッピンスを見たときはとても驚きました。初めて食べたのは、韓国で有名なパッピンスのお店「설빙」のブルーベリーヨーグルトパッピンスです。とても美味しく、感



動しました。その他にもチーズやきなこ、サツマイモやイチゴにチーズケーキが刺さっているもの、チョコレート味の氷のパッピンスなど日本にはないような味や見た目のものが多く、楽しみながら食べました。

85st coffee

また、韓国は日本よりカフェが多いように感じました。学校の周りにも、寄宿舎の周りにもたくさんのカフェを見つけました。値段は少し高いけど、見た目が可愛いものが多いのでつい頼んでしまうことが多かつ



KAMONG



たです。また韓国人は食事の後、カフェでコーヒーを飲む人が多いと思いました。韓国で生活をしていたからこそ、気付けることもあるのだ

と感ずることができました。私は勉強する時もよくカフェに行きました。本当にカフェが多いので、今日はどこに行こうかなと迷うことも楽しく、勉強がはかどりました。私は明洞にある「J-HOLIC」や論峴にある「85st coffee」によく通いました。



お店のお兄さんに顔を覚えてもらえて嬉しかったです。韓国にもスターバックスがありますが、仁寺洞にスターバックスの表記がハングルの店が1つだけあるということで探しに行きました。貴重なハングル表記 J-HOLIC できてよかったです。

実際に韓国へ行くと、想像していたことと違うことや新たな発見がたくさんあり、とても貴重な経験になりました。トッポッキやキンパ、キムチなど手軽に食べられるものもあり、留学中に食事で困ることはありませんでした。勉強を頑張りつつも、美味しいものもたくさん食べ、とても充実した留学生活だったと思います。



▼
夜中のチキンパーティー



▲ 明洞で初パッピンス